

トップは語る



変化の時代を生きる 強さとしなやかさ

関東支部 シンポー情報システム株式会社 代表取締役社長 中溝 正俊氏



なかみぞ まさとし/1955年生まれ。中央大学理工学部卒。1977年神奈川トヨタ自動車株式会社入社。企画部にて神奈川トヨタグループ向けの各種オンラインシステムの開発に従事。シンポー情報システム株式会社設立後は、取締役、神豊情報技術（延辺）有限公司 総経理、常務取締役などを経て2010年代表取締役社長。好奇心のアンテナは常に様々な方向を向いており、旅客機とディズニーについてはマニアックに詳しい。社員に対しても、オンオフどちらも充実できるよう柔軟な発想を身につけてほしいと願っている。

企業戦略として マシンルームをなくす

シンポー情報システムは、神奈川トヨタ自動車(株)の情報システム開発部門が独立した会社です。神奈川トヨタグループでは1960年代よりコンピュータ導入を進め、1978年には顧客データベースをもとに車検・法令・板金など車の整備を行う「サービスオンラインシステム」を稼働させるなど、早くからオンラインシステム化に取り組んできました。この経験で身につけた技術力を広く社会に役立て、グループとして新たな事業分野に進出する目的で当社の独立がはかられたのです。

私が社長就任後に行った改革の一つがシステムのクラウド化です。2013年に

クラウド化に着手し、2014年に全面的に富士通のクラウドサービスへ移行、2015年には社内にあったマシンルーム「横浜コンピュータセンター」を閉鎖しました。

以前近くの国道で起きた事故により電柱が倒壊し、突然の停電でグループのシステムを支えるホストコンピュータがダウンし、グループの事業活動に大きな影響を与えたことがありました。この出来事がクラウド環境への移行を考えるきっかけになりました。自社にサーバを持つことで、それを管理する人材の確保、セキュリティやOSのアップデート、ディスクボリュームの拡張など常に配慮しなければなりません。クラウド環境における安定的な稼働やインフラのスムーズな縮小/拡張は大きなメリットであり、グ

ループ全体の情報処理コストを削減することができると考えたのです。

クラウドのデメリットとして、カスタマイズ性の低さを挙げる人がいますが、数年間クラウド環境で仕事をしてみて、クラウドだからできないというもどかしさを感じたことはありません。インフラの維持管理から解放されたことで、本来取り組むべきテーマに限りあるリソースを投入できるという、長期的なメリットから見てシステム環境をとらえるべきです。もちろん移行は簡単ではありませんでしたが、現在は社内全体がクラウドの仕組みを前提に仕事を進めるように変化してきており、将来のための正しい選択だったと思っています。

ビジネス深化で 事業のベースを作る

独立後、当社は神奈川トヨタグループにおける情報処理のさらなる向上に貢献することはもちろん、自立した会社としてグループ外へも事業展開することで収益基盤の拡大をはかってきました。現在ではグループ内の売上は2割程度にとどまり、残りの8割は自動車系、公共系などグループ外のお客様で構成されるようになっています。

グループのシステム開発を手がけることで蓄積した大きなノウハウのひとつが顧客情報管理システムです。百万件単位の顧客情報の更新とメンテナンスを常に行い、精度の高いデータベースを構築した経験から得られたこの技術は、アパレル企業の顧客管理や販売・受発注管理、自治体の公共システムなど、他分野へのビジネス展開に大いに役立っています。

現在、事業展開として力を入れているのがビジネスの深化です。そのモデルがヘルスケア分野。電子カルテなどのパッケージを開発し、さらに病院に出向いてそれを導入、サポートする。こうして実績を積んだ社員が、顧客向けの詳しい知識が必要なコールセンターのバックオフィス機能として活躍する。ビジネスの厚みが増して利益の基盤ができると同時に、当社の人材を育成していくステップにもなるのです。

ビジネスに厚みを持たせるためにはフ

レキシビリティも必要です。中国の子会社は私を中心となって立ち上げましたが、目的はオフショア開発だけではありません。国内での将来的な人材不足への対応も目指しています。現在も来日して実際のプロジェクトに加わってもらったり、あるいはこちらから中国へ出向きプロジェクトの進行を確認したりする中で、マネジメントや品質のレベルアップをはかっています。

チャレンジングで オープンな社風を醸成

当社の社員は事業部ごとに異なる業務に従事しているため、とすれば他との交流や連携が全くない状態に陥りやすく、これを解決することも組織力を高める上で非常に重要です。このため、Value Up Challenge (VUC) という制度を設け、中堅クラスの社員が事業部間をローテーションで異動するようにしています。中堅クラスが一旦プロジェクトからはずれることで、他のプロジェクトメンバーが苦労する面もありますが、その分若手が奮起して成長するチャンスも生まれます。また、中堅は他のプロジェクトに携わることで、自分の仕事の領域を広げ、新たな視点を持つことができるようになるのです。

さらに、事業部長同士も緊密にコミュニケーションし情報共有をはかっています。新たな案件の相談であったり、それに対する人材のやりとりであったり、フラットな情報交換を徹底することで、無駄のない効率的な仕事の進め方が可能になっています。

そして、社内のコミュニケーションが活性化されてくると、チャレンジングなムードも形成されていきます。何かを仕掛けよう、今までと違う何かをやってみようという意欲につながるのです。そんな社員の意欲が実った例として、役所窓口の混雑状況を見える化するアプリケーション「ならばぬ君」があります。混雑状況を見える化するシステムはたくさんありますが、「ならばぬ君」は距離センサーを活用するため、人の手による操作が不要で、なおかつ簡単、低コストで導入可能な点に新しさがあり、一般



「チャレンジ」できるイキイキとした組織風土

社団法人 神奈川情報サービス産業協会が主催する「アプリケーションコンテスト2017」で最優秀賞を受賞しました。

私たちの仕事は受け身であっては成り立ちません。常に問題意識を持って、身近な不便や不具合の解消に積極的に向き合う姿勢があればこそ、お客様に必要とされる存在になれるのであり、仕事の醍醐味も味わうことができるのです。

激変する世界で 未来をどう形作るか

グローバル化が進展し、ビジネスのライフサイクルが短くなる中、ICTの役割やICTに寄せられる期待はますます増大しています。しかし、また一方では新たな課題が山積していることも事実です。あらゆる場面でのAIの台頭と自動化の進展、技術革新による破壊的イノベーションなど、従来のビジネスの延長では考えられなかったことが次々に出現しています。発想を転換し、外部環境の変化に素早く対応できる強い足腰を持つことが企業の発展に必要な不可欠になってきています。

日本は非常に高い開発力、問題解決能力を持ち合わせているにも関わらず、イノベーションを起こす力が弱いと感じることがあります。先日、中国の子会社近くの百貨店を訪れた時のことですが、クロークが様変わりしていて驚きました。今までは係員が対面式で番号札を合わせながら手荷物を出し入れを行っていたのですが、いつの間にか顔認証を使ったロッカーに一新されていました。顔認証で自動的にロッカーの扉が開閉し手荷物を出し入れすることができます。暗証番号の設定や鍵が不要ですから、高

座右の銘

即断即決

(そくだんそっけつ)

30代の頃、取引先の常務に「判断が遅ければ不利益しかない」と言われたことが心に響き、以来、判断材料が少なくとも従来の経験値などを勘案し素早く決断することをモットーとしている。

齢者にもやさしいシステムです。

こうしたスピード感とチャレンジングな気質を当社にも根づかせたいと考えています。私の大きな役目は次に会社を経営する人材を育てることです。ビジネスにスピードが求められる今、社員一人ひとりが自分で考え自分で判断しなければならぬ場面が増えてきます。私は基本的に事業部単位のビジネスについては各事業部長の判断に委ね、ほとんど口を挟みません。極端な言い方をすれば、失敗も経験してほしいと思っています。変化の時代には、恐れずに歩みを進め、間違っていたら即座に方向転換し、状況を見極めながら新たな挑戦を始めるという強さを身につけることが重要です。そうした人材が育つことで当社の新たな発展を望むことができると考えています。

company profile

シンポー情報システム株式会社

●所在地：〒221-0052

神奈川県横浜市神奈川区栄町7-1

TEL. 045-459-2270 (代)

<http://www.shimpo.co.jp/>

●設立：1988 (昭和63) 年

●資本金：9000万円

●売上高：37億9900万円 (2018年3月期)

●従業員数：412名 (2018年4月現在)

●関連会社：株式会社KTグループ/神奈川トヨタ自動車株式会社/トヨタカローラ横浜株式会社/ネットヨタ横浜株式会社/ネットヨタ湘南株式会社/株式会社トヨタレンタリース神奈川/トヨタエルアンドエフ神奈川株式会社/神奈川トヨタ商事株式会社/神奈川ハマタイヤ株式会社/ケイ・ティ・ストアマネジメント株式会社/株式会社ジェームス神奈川/ニューライフ横浜株式会社/神奈川トヨタ整備株式会社/トヨタサービスセンター神奈川株式会社/株式会社KTサポート/株式会社Office T

●子会社：神豊情報技術 (延辺) 有限公司 [中国]